



金沢経済大学同窓会誌

ますな

第10号

2000.01.

発行所/金沢経済大学同窓会事務局
〒920-0813 石川県金沢市御所町丑10
事務局 TEL・FAX(076)251-9876
大 学 TEL(076)253-3924

発行責任者:中田邦雄 編集発行人:菅村洋一

同窓会会員 現在11,434名



「自己責任」とはなんだ

稲置学園法人本部長

吉 島

登

本部長就任に際し、昨年五月発行の「学園ニュース」の紙面にて、

「教育とは全く異なる分野に身を置いておりましたが、四月から学園の法人本部長として皆様方の仲間入りをさせていただくことになりました。」

「教育とは全く異なる分野に身を置いておりましたが、四月から学園の法人本部長として皆様方の仲間入りをさせていただくことになりました。」

日本版ビッグバン（金融制度の抜本改革）以後、自己責任という言葉が広く使われるようになりました。

九十年代に入ってから、産業界は平成不況の波と規制緩和による自由化の波に洗われております。つい最近まで傍観者の立場で眺めておりました教育の世界にも確実に自由化の波が及んできており、護送船団の最後の砦が崩壊しつつあるようです。

自己責任とは、文字通り「それはすべてあなたの責任ですよ」ということに他なりません。我が国では従来よりこの責任の取り方が曖昧であったように思われます。

今、コンピュータの二〇〇〇年問題が話題となっておりませんが、私学にとって次の二〇〇〇年はコンピュータの誤作動より遙かに重要な問題を孕んでいるように思われます。

不良債権の処理に苦しむ金融機関への公的資金の投入が世間の批判を浴びましたが、そこには「預金者保護」という一応の大義名分がありました。

自由化の代償は「自己責任」という形で鋭く問われる時代になり

しかし、十八歳人口の急減と文部行政の規制緩和で本格的な淘汰の時代を迎えた私学には、「学生保護」を名目とした公的資金の投入は望むべくもなく、自助努力以外に道はないようです。

昨年の五月二十一日、同窓会の役員の方々、中田邦雄会長、三好研一、鳥居茂、菅村洋一副会長、四氏と学園理事との懇談の場に同席させていただきました。

役員の方々の大学に対する思い入れ、将来の在り方、貢献の方策など母校を愛する熱き想いに感銘し勇気づけられました。

私学は生き残りを賭けた競争の渦中にありますが、独立行政法人に移行する国公立大学との競合も目前に迫っております。

今や、学校経営は企業経営と同じく顧客（学生と社会）のニーズを如何に捉え、そのニーズに如何に答えられるかによってその存在が左右される時代になりました。

誠実にして
社会に
役立つ
人間の育成

「社会に役立つ人間」とは、今、我々教職員一同が真剣に問い続けなければならない命題ではないかと思っております。

最後に、金沢経済大学同窓会会員各位のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

〈プロフィール〉

昭和十五年四月九日生
学歴 金沢大学法文学部卒業
職歴 北國銀行

企画部調査課長
野町支店長
京都支店長
企画部長
営業統括部
経営相談所所長

関東支部設立準備会報告

同窓会副会長 鳥居 茂

師走の気ぜわしい日々の頃、日本航空142便で小松空港にて搭乗、満席状態の中、久しぶりの東京行き。かれのご年配のご夫婦にとても親切なスチュワーデスさんのサービスを、お年寄りの不安気を除く様に、飛行中話をかけつつ、話題の盛り上がり、老夫婦の仲の良さがとても印象的であった。

機中での読書も間もなく、わずか六十分で羽田空港に飛行機は着陸、ゆとりある機中に満足した。到着時刻が午前十一時であったため有楽町迄電車に乗って行ってみました。有楽町マリオン前当りから西銀座デパートあたりまで長い列、歳末ジャンボ宝くじを買い求める列でした。都内の名所をいろいろと観光し、自分が二十五年前営業で廻った地域を散策、あまりの変化に驚くばかりであった。

田舎者まる出しの自分の世界でやっぱり銀座に戻って来てしまいました。夕刻の銀座四丁目服部時計店の前は信号待ちの人垣でパニックになる様子、しかし整然と信号待ちしている都会人は、日本の教養の高さ、モラル向上の徹底さを見せつけられ、金沢片町だとさうはいかないのではと思知らされました。

平成十年十二月十二日(土)午後五時三十分、銀座八丁目銀座通り博品館の裏通り金春通りの銀龍にて東京支部設立準備会が開かれました。参加者は勝木洋介、笹山孝治、山根孝二、金沢から中田邦雄同窓会会長と私、鳥居が出席しました。

東京の三名は、いずれも大企業の幹部でこの会に参加していた。きましました。大学時代の思い出話、仕事の事、子供の事と分け子供のこととなる顔もほころび、各人の子供への育み方に相づちを打ち、仕事の話となると、この不況化、厳しい一言でつらい話にもなりました。

大学同窓会名簿集の学舎の写真での変わり様に異口同音、なつかしさが感じられました。長さを感じさせなかった二時間半、長さを感じさせない話つきる事のない一夜で握手を交わし打ち上げとしました。二次会の時間も無い訳ではなかったのですが、皆さん遠路のため帰路へ、我々は会長に従い宿舎へと向かいました。

翌朝、JAL147便にて小松空港へと搭乗、空からの眼下、羽田空港、東京湾に浮かぶ船舶がやけに明確に映り一晩の東京は、出張等での馴れか、胸の高鳴りより再び東京で行動できる機会をさすかった事に、いやに東京への親しみを覚えました。



関西支部設立総会

同窓会副会長 鳥居 茂



平成十一年六月五日(土)午後六時半、大阪急ホテルにて、関西支部設立総会が開催されました。総会のご案内状総数六百二十八通宛先不明者約四十名の報告があり、当日の出席者約四十名と中田会長、菅村副会長の計十一名とやや寂しい設立総会となりましたが、これが支部設立の第一歩と評価して、今後の支部活動に期待を寄せる会話がかわされました。



関東支部設立総会

同窓会副会長 鳥居 茂

平成十一年九月十五日(水)敬老の日、東京駅八重洲口のホテル国際観光の三階富士の間にて、金沢経済大学関東支部総会が開かれました。山根孝二さんが進行役となり、中田同窓会長の挨拶から始まり、山根さんの関東支部長の承認、卒業年次幹事の依頼と承諾のお願いの後、なごやかに午後三時迄懇談が催されました。

今回の出席者は、十五名で内、第一回卒業生から第四回生までが九名、五十四年卒一名、六十二年卒一名、平成卒業生四名、と年度には差がありますが、その年度毎の楽しかったエピソードで盛り上りました。とり分け転属者は、四期までの方で、体育会系の方々が二名(空手、剣道)そして応援団団長一名、又女性二名は、嫁先が関東である事ながら、金沢へ帰郷する事はなかなか機会が無い



東海支部設立総会

平成十一年十一月二十日(土)午後六時、名古屋レストラン幸帆亭にて当会支部設立総会が開催されました。支部構成員六百名、当日は十五名に中田会長、三好副会長が参加、更に、関西支部長佐久間氏も参加され、支部運営の意見交換などが行なわれ和やかに旧交を暖めました。



大学(学園)と同窓会の将来に向けて

現状認識と対話の可能性を探る



学園本部及び大学の学舎の完成

稲置学園及び金沢経済大学関係役員と同窓会正副会長による意見交換会が、平成十一年五月二十一日(金)の午後六時より金沢スカイホテルに於て開催されました。稲置学園より稲置美弥子理事長、鈴木透常務理事、本年度新任の吉島登本部長、稲置慎也企画室長、金沢経済大学より杉本康夫事務局長をお招きし、同窓会より、中田邦雄会長、三好研一、鳥居茂、菅村洋一副会長が出席、学園の現在を同窓会として正しく認識することで、今後の活動に役立てることを意図した交換会として進行されました。

により、イメージの一新を図ったことを第一歩として、学園の教育理念である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」にとつて金沢経済大学がどうあるべきか、あるいは少子化による入学者数の減少にどのように対処し、歯止めをかける行くのかなど、学園の運営を含めた話題を同窓会の立場で忌憚なくお尋ねをすることから話題がスタートされました。当然、大学卒業生で構成される同窓会としては、その将来が極めて大切な運営要件となります。多くの社会に役立つ人材の輩出こそ同窓会の発展にも通ずるからに他なりません。

そうした現状を踏まえて、大学の将来に向けたスタートとして、平成十二(二〇〇〇)年四月から商学部を廃止しビジネスコミュニケーション学科学科をスタートさせることで申請作業が進められていることが明らかにされました。時代の要請に的確に応えた教育研究のテーマとして日本初の学科として実現することになるとのことです。新しいイメージでビジネスを捉え直すことから、大きな変革を遂げつつある経済の実体により近づくために、コミュニケーションを重



視した学科の創設で経済への視点の幅を広めることこそ時代の要請であることがその主眼とされる、とのことでした。

時代はその変化を早めています。そして、従来の手法では理解できないほどに国際化が進展しているのです。この時代の息吹きを先進的に取り入れ、現実に対応することの意義が極めて重要な要素となつてきていると云うことではないでしょうか。同窓会としては、その将来性に期待をするとともに、同時に同窓会会員も学べるシステムの開発を考えたいものとの提案をさせていただきました。

同窓会活動の現状では、支部の

結成が具体化し、関東、関西、東海、石川県では加賀で動き始めたことが報告されました。同窓会会員の「きずな」を強めることを通じて、大学並びに学園のバックアップが出来るような体制づくりが今後の大きな課題として取り上げられるよう、働きかけがなされることとなります。

すでに一万人を越えた同窓生が全国の実社会で活躍をしています。その大きな数がかげりとなって大学並びに学園の将来を思いやることで、同窓会としての活動の基盤も万全となつていきます。

こうした話題を中心に、互いの率直な意見の交換で二時間を経過し、今後も現状報告を中心とした交換会を継続することを約束して散会となりました。

初めての試みとしての交換会ではありましたが、大学の将来についても同窓会として大いに関心を払って行くことの大切さと、学園関係者に同窓会の存在を改めて再認識していただく絶好の機会となったものとその成果を評価しています。



同窓会会長年間職務日誌

月日	行事名	場所
H.10. 4/17	稲置学園評議会	金沢経済大学会議室
4/28	稲置繁男先生顕彰事業実行委員会	金沢スカイホテル
5/20	稲置学園評議会	金沢経済大学会議室
6/13	同窓会常任理事会	金沢スカイホテル
7/18	同窓会理事会	金沢スカイホテル
9/6	天皇杯サッカー試合応援	金沢市民サッカー場
9/12	同窓会関西支部結成準備会	アクティ大阪
10/10	同窓会ゴルフコンペ	白山カントリークラブ
10/14	稲置学園評議会	金沢経済大学会議室
10/31	同窓会加賀支部総会	パルシー「聖城苑」
11/3	金沢大学祭見学	金沢大学キャンパス
11/6	稲置学園評議会 同窓会常任理事会	金沢経済大学会議室 ホリデイ・イン金沢
11/21	同窓会東海支部結成準備会	ホテルアソシア名古屋ターミナル
12/4	稲置学園懇親会	金沢東急ホテル
12/12	同窓会関東支部設立準備会	函館会館(銀座)
H.11. 2/13	稲置学園同窓会(大学・短大・高校)	金沢スカイホテル
3/8	稲置学園評議会	金沢経済大学会議室
3/12	金沢経済大学卒業記念パーティー(Ⅰ部)	金沢全日空ホテル
3/13	金沢経済大学卒業式 金沢経済大学卒業記念パーティー(Ⅱ部)	稲置記念館講堂 金沢東急ホテル

金沢経済大学OBゴルフ同好会 第13回絆コンペ報告

同窓会副会長 鳥居 茂

去る平成11年5月29日(土)晴れ、千里浜カントリー倶楽部において第13回「絆コンペ」が開催されました。同窓生15名、オープン参加4名、合計19名5組で12時30分スタート。天候は朝からの強い日射しでグリーンは乾いているもののボールの流れは重く、バターでのショートが目立ちコーライグリーの難しさに苦慮している組みが多く見られました。同窓生の初参加も多く、次回の大会につなげる楽しく会をすすめていただきました。成績は下記の通りです。

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	H.CP	NET
優勝	鳥居 茂	47	45	92	23	69
2位	森川 健三	40	43	83	12	71
3位	小西 俊夫	56	44	100	27	73

尚、今回は平成11年10月に第14回が開催される予定で、現役学生の方も募り恩師、職員の方々にも参加を促し、企画盛り沢山で行ないたいと思います。来年度は、「お陰さまで15回を迎えて」と挨拶の中で、小川代表も言いたいと申しております。未永く、この会にご協力をいただいで見守っていただき各位に感謝申し上げます。

あけましておめでとうござい
ます。景気の浮揚を実感すること
なく新しい年を迎えました。しか
し同窓会は年々その活動を活
かしてはいます。こんな時代だ
からこそネットワークの大切さ
を感じ、会員間の接点の拡大が
使命であることを知らされるか
らに他ならないと考えます。情
報ネットワーク時代に向けて、同
窓会の一層の充実を計らなけれ
ばならないと思っております。
支那活動が、始まっています。
各地での様々な情報を同窓会
へお寄せ下さい。会員として、
貴方らしいコミニケーションツ
ールをお役立て下さい。

編集後記

新学科開設 2000年4月にスタート(商学科を改組)

【ビジネスコミュニケーション学科】

しなやかな発想力と実践力を持ち、先進のコミュニケーション手段を駆使し、世界で活躍できる人材を育成する。

生産者と消費者の双方向な
経済関係を追求

ビジネス分野

経営実務・戦略・消費者運動、
経営情報システム、経営戦略、
税務会計、貿易etc.

グローバル社会に通用する
国際的センスを養う

国際関係分野

国際金融、国際経済、多国籍
企業、ユーロ経済、環境問題、
経済開発・海外援助etc.

金沢経済大学

資料請求 TEL(076)253-3922
FAX(076)253-3991
<http://www.kanazawa-eco.ac.jp/>

プレゼンテーション社会に
即、活用できる能力を磨く

コミュニケーション分野

語学、異文化コミュニケーション、
マーケティング、企業広報、マルチ
メディア、インターネットect.

【経済学科】

経済学の基礎から、地球から、地球環境にかかわる経済問題まで、幅広いフィールドを網羅した学びのエリアによってゼネラル・エコノミストを育てます。コースを選択するとともに、各自の興味や関心に沿ったゼミナールに属することで専門性を究めていきます。

国際経済の
ダイナミズムを感じる

日本と世界コース

自国はもちろん世界各国の文
化や伝統といった、多様な価値観
を学習。ボーダレスに動き続ける
国際経済の分野で活躍できる素
養と視野を育みます。

経済学の視点から
人間と自然の共生を考える

生活と環境コース

地球環境とのより良い共生が
叫ばれている昨今。さまざまな学問
分野も積極的に取り入れ、環境と
経済のかかわりから起る問題を
解決できる人材を育成。

斬新で柔軟な発想で、
地域経済の活性化策を探る

地域と産業コース

“地方分権”の流れの中で、地
域の特性とニーズを尊重し、生活
と産業の向上に貢献できる地域
経済政策を企画・立案できる人材
をめざします。

歴史を理解することから
未来経済の構想が始まる

歴史と文化コース

経済の歴史をひもとくことでそ
の法則性を、各地域・民族特有の
文化とその経済システムの多様
性を探究することで、未来を見据
える力を育てます。

金沢経済大学同窓会
星稜女子短期大学同窓会
実践・星稜高等学校同窓会

学園同窓会役員合同懇親会

雪が舞うどんよりとした空に時折折れ間の覗く週末、稲置学園各学校同窓会役員合同懇親会が、平成十一年二月十三日(土)午後六時より金沢スカイホテルにて初めて開催されました。

金沢経済大学、星稜女子短期大学、実践・星稜高等学校の同窓会役員がその垣根を越えて、同じ学園卒業生として親睦を深めることが、学園の将来を考える仲間として気持ちを通じ合わせる事が出来る、との大学同窓会役員会の提唱に賛同を得た形で実現しました。当日は、初の試みを学園の関係者にも祝って初らおうと、稲置理事長ほか理事並びに学園関係者をご招待し、一段と盛大な懇親会となりました。



まずは、提唱者の大学同窓会会長中田邦雄の挨拶で幕が開けられ、理事長のご祝辞並びに鈴木透学園常務理事の乾杯の音頭で懇親会のムードを盛り上げることとなり、各テーブルでは、それぞれの思いを語る和やかな宴席へと進むこととなりました。

宴席を進めながら、山村勝郎金沢経済大学学長、山崎和想星稜短期大学学長、木坂信星稜高等学校校長よりそれぞれの近況報告や、同窓会への熱い想いなどをスピーチいただき、学園としての将来が各学校の同窓会の多大な声援で一層盛り上げられることを参加者一同にて再認識することになりました。私学の現状は、少子化により一段と学生、生徒の確保が難しくな



っています。また、各国公立の学校の法人化に向けた動きは学校間の競争の激化に拍車をかけることが予想され、特に大学、短期大学としてはその特色づくりが急務となっております。これまでの考え方の延長線ではない時代を先取りした発想で学園の運営が望まれ、そこには、同窓会を含めた関係者の連携が重要なポイントとなってくる



ると想われます。さて、宴席の盛り上がりで、こうした現状を踏まえたご発言を学園各理事に頂戴しながら、テーブルごとの会話の弾み具合がはなはだしく、ついに合田昌英学園理事より一喝があり、「それぞれの会話も大切だろうが、貴重なお話をいただきたい時ぐらいはしつかり聞きなさい」と、大目玉の一幕もあり、さながら、学校時代の大講義室で講師の先生を無視した私語の喧嘩を注意されたときのこと



が思い出されました。ともあれ、各学校同窓会役員並びに学園関係者を一同に集めた懇親会も、その提唱の意義を十分達成した形で終幕を迎え、カラオケで和やかな一時を過ごしたあと、これからもより一層の連携で学園を見守り、バックアップすることを確認し、佐藤忠吾学園監事の万歳三唱にて散会となりました。



【列席者】

- | | | | | | | |
|-------------------|-----------|-------------------|-----------|------------------|---------|---------|
| 稲置学園
理事長 稲置美弥子 | 常務理事 鈴木透 | 本部長 本田芳郎 | 理事 浮田昌豊 | 理事 合田昌英 | 監事 佐藤忠吾 | 監事 新保久男 |
| 金沢経済大学
学長 山村勝郎 | 事務局長 杉本康夫 | 星稜短期大学
学長 山崎和想 | 事務局長 清谷利博 | 星稜高等学校
校長 木坂信 | 以上、十二名 | |
- 同窓会関係者 二十七名

活動の活発化を約す 平成十一年度理事会開催 ネットワークの拡大強化に向けて



平成十一年度理事会が平成十一年七月十七日(土)午後六時より、金沢スカイホテル十階白山の間に開催されました。当日は常任理事を含め二十五名の出席を得て、芝田広報委員の司会進行で開会、中田会長の挨拶の後、会則に基づき中田会長が議長となり議題の審議に入りました。まず役員の見直しにつき、平成十一年度同窓会役員名簿の説明があり、承認を得ました。引き続き、田中企画委員より平成十年度決算書の報告があり、森監事より監査報告が行なわれました。更に、平成十一年度予算案が提案され、質疑応答を得て承認されました。最後に、中田会長より、支部開設の具体的な準備作業に入ったことが報告され、今後の同窓会の活動の活発化への期待を出席者全員の手拍りで締めくくりました。

長、山村学長、杉本事務局庁、白川部教務部長、山田学生部長、藤岡図書館長、粕野人間科学研究所長のご出席を戴き、懇親会に移り、稲置理事長、山村学長のご挨拶に続き、杉本事務局長の乾杯で開宴されました。



テーブル毎の会話や交換もとてもなることを知らないようでしたが、午後八時半、同窓会三好副会長の一本締をもって散会となりました。



平成11年度同窓会予算書

平成11年4月1日～平成12年3月31日

収 入		支 出	
科 目	予算額	科 目	予算額
前期繰越金	5,524,827	事業費	900,000
入会金	4,880,000	人件費	540,000
受取利息	150,000	通信費	1,200,000
雑収入	80,000	消耗費	100,000
		在校生補助	700,000
		理事会費	400,000
		支部助成金	250,000
		旅費交通費	150,000
		広告費	20,000
		学園懇親会費	70,000
		同窓会館積立金	140,000
		予備費	300,000
		次期繰越金	5,864,827
合 計	10,634,827	合 計	10,634,827

*前期繰越金項目処理を承認

平成10年度同窓会決算書

平成10年4月1日～平成11年3月31日

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	3,812,514	事業費	770,088
入会金	5,420,000	人件費	530,500
受取利息	165,006	通信費	1,057,053
雑収入	91,945	消耗費	29,833
		在校生補助	500,000
		慶弔費	200,000
		理事会費	348,394
		支部結成費	349,890
		広告費	20,000
		同窓会館積立金	158,880
		予備費	0
		次期繰越金	5,524,827
合 計	9,489,465	合 計	9,489,465

【特別会計 同窓会館積立金】・・・26,356,820円



なぜ日本は国際的に理解されないのか 望まれる「異文化コミュニケーション能力」

金沢経済大学教授 田中 宏 幸

アメリカの駐日大使も務めた親日家で有名なライシャワーは、その名著『ザ・ジャパニーズ・トゥデイ』のなかで「日本は、先進国開発途上国のいずれの側からも、経済面で圧倒的な強国だと認識されていませんが、十分に理解されていません。話の通じにくい、つき合いづらい国家だと感じられています」と記しています。

これは世界の日本理解を代表する言葉でしょう。つまり日本の努力にもかかわらず日本は国際的に理解されていないということになります。日本がもっぱら西欧文化の一方的な摂取に努めていたころは「謎の国」ですんでいました。が世界の政治経済にコミットするようになるのと必然的にコミュニケーションの問題が表面化してきます。

ところが英語をはじめ外国語に憧れながらもなかなか語学力が身につかないせいもあって、これが日本人には苦手なのです。それはそもそも沈黙を評価し、思い入れや腹芸、以心伝心の文化、そして言葉を使っても「文字」に頼る文化を培ってきた日本人には無理もないことです。一方世界の多くの文化圏、特に近代化を推進してき

た西欧文化圏では言葉、それも話し言葉に重心をおいたコミュニケーションが中心となりますから私たちの文化とは相容れないものがあります。理解されないのはむしろ自然の成行かも知れません。幸い最近では次第に日本人離れした世代が生まれつつありますから、ひよつとしたら改善されて行くかもしれません。「ひよつとしたら」と言いますのは、経験上この新しい世代も果たして「沈黙の文化」「文字社会」から脱出できるかどうかはなほだ心許無いからです。

しかし国際的にはビジネスの世界でも、この日本文化が得意とするような人間関係の構築や日本的な非言語的コミュニケーション重視の行動・活動は善かれ悪しかれ通用しません。

ここで実践的なコミュニケーション能力が問題になってくるわけです。文化の異なる地域での経済活動では摩擦が生じやすいわけですが、そのときこそますます相互理解のために、あるいは効果的な説得のためにコミュニケーションに依存する割合は高くなってきます。この場合、交渉言語の語学力

が必要なことはもちろんですが、それと同時に今日グローバルな恐らく西欧の文化様式に応じたコミュニケーションのルールにも通じている必要があります。日本人が英語ができないのは、語学力もさることながらこのルールを弁えていないことによる方が大きいという意見さえあります。

そうかといってコミュニケーション能力を重視するあまり、「英語を国語に採用したらよい」とか「小学校から英語教育すべきである」といった偏った英語至上優先主義はもちろん考えものです。

世界の文化は多様なので英語文化圏以外のさまざまな異文化圏の特質についても必要に応じて心得ておかなければなりません。しかし何よりも重要なのは自己の文化、私たちの場合は日本の文化の特質を自覚しておくことです。これはしかし「国旗」「国歌」の性急な法制化にうかがえるような一種の劣等感に基づくナショナリズムに傾斜するのは好ましくありません。相互理解のために障害になりそうな自文化の特色を心得ておきたいということです。因に日本人は「日本、日本人、日本文化

は独自である」という先入観にとらわれやすいといわれますが人間は多くの場合自己文化を基礎に行動せざるをえませんから、ある程度「日本人」として行動するのは国際的にも理解されると思います。しかしあまり日本が特殊だと思いついていて、それ自体が障害になります。普遍的、共通なものまで見過ごしてしまふことになりまふ。ここで「世界」を知るといふことは実は「日本」を客観的に知ることでもあるということです。客観的に日本を知ることによって、自ずから「異文化」への視点も育まれます。そしてこの異文化への視点に配慮したコミュニケーションを心掛ければ「日本・日本人」も国際的にもっと正当に理解・評価されるようになるでしょう。

ところでこのような分野の研究教育を対象とした最近のディシプリンの一つが「異文化コミュニケーション論」であります。

申し遅れましたが皆様の母校金沢経済大学も来年度から「商学科」が「ビジネス・コミュニケーション学」に改組されます。これは最近の国際環境からみてま

に時代の要請に相応しいものと言えましよう。私はこの新しい学科で「異文化コミュニケーション」を他を担うべくこの四月から応援に参じております。微力ではありますが育つように尽力いたしましたと思っています。なにとぞご声援いただきますよう、またご意見、ご要望などお寄せいただきますようお願いいたします。

末筆ながら同窓会の皆さんのご活躍とご健勝をお祈りいたします。

〈プロフィール〉

昭和六年九月二十五日生

学歴 富山大学文理学部卒業

東京大学大学院

人文科学研究科

修士課程終了

職歴 熊本大学講師

金沢大学教授

金沢大学名誉教授

